

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2018. 8

73

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス協内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



CONTENTS

平成30年度 通常総会開催	2
新役員紹介・代表者交代・新任者紹介・新入会員紹介	3
平成30年度 協会活動方針	4
平成30年度 通常総会記念講演会	5
平成29年度 新年例会	6
第26回 サウンズコンテスト	7
社会貢献活動(別府大分毎日マラソン)	8
平成29年度 第2回OISA視察研修旅行	8

豊後大野市清川町

大分県情報サービス産業協会 平成30年度通常総会開催

総会議事

- 第1号議案** 平成29年度協会活動報告および委員会事業報告
ならびに平成29年度収支決算承認の件
会計監査報告
- 第2号議案** 平成30年度協会活動方針
ならびに委員会事業計画決定の件
- 第3号議案** 協会設立30周年記念事業の件
- 第4号議案** 平成30年度収支予算承認の件
- 第5号議案** その他の件



森 秀文会長 挨拶

大分県情報サービス産業協会平成30年度通常総会が、平成30年4月25日(水)全労済ソレイユにて開催されました。森会長が議長となり総会議事が執り行われ、標記第1号議案から第5号議案まで原案通りに承認されました。

引き続き、大分県商工労働部理事兼審議監小野賢治様、国立大学法人大分大学理工学部教授西野浩明様にご挨拶をいただき、その後、日本銀行前大分支店長濱田秀夫様より「最近の金融経済情勢」についてご講演を行っていただきました。

総会終了後は来賓の方々を交えて交流会が行われました。



小野 賢治様 挨拶



西野 浩明様 挨拶

平成29年度決算および平成30年度収支予算 収入の部

(単位：円)

科目	30年度予算額	29年度決算額	差 額
入 会 金	20,000	30,000	▲ 10,000
会 費	2,425,000	2,375,000	50,000
総 会 費	58,000	58,000	0
事 業 収 入	1,470,000	1,522,000	▲ 52,000
JISA 交付金	300,000	300,000	0
事業外収入	700,200	229	699,971
前年度繰越金	2,198,574	2,166,189	32,385
収 入 合 計	7,171,774	6,451,418	720,356

平成29年度決算および平成30年度収支予算 支出の部

(単位：円)

科目	30年度予算額	29年度決算額	差 額
管 理 費	585,000	560,877	24,123
総 会 費	223,000	222,402	598
事 業 費	4,407,000	3,469,565	937,435
予 備 費	0	0	0
特 別 予 算	1,300,000	0	1,300,000
次期繰越金	656,774	2,198,574	▲ 1,541,800
支 出 合 計	7,171,774	6,451,418	720,356

平成30年度大分県情報サービス産業協会役員

平成30年6月6日現在

OISA役職	氏 名	会員名・役職
会 長	森 秀文	(株)オーイーシー 代表取締役会長
副 会 長	於保 宏明	九州東芝エンジニアリング(株) 取締役社長
理 事	荒城 英世	大分交通(株) 常勤監査役
理 事	小野 敬一	ゴードービジネスマシン(株) 代表取締役社長
理 事	前田 修二	(株)シーエイシー 代表取締役社長
理 事	大島 昭	(株)富士通九州システムズ 執行役員
理 事	平山 義雄	大銀コンピュータサービス(株) 代表取締役社長
監 事	田崎 方人	鶴崎海陸運輸(株) 取締役
監 事	山口 登	モバイルクリエイイト(株) 取締役(常勤監査等委員)
事務局 長	眞名井龍一	(株)オーイーシー 常勤監査役

来賓挨拶

大分県商工労働部 理事兼審議官 小野賢治様

「大分県情報サービス産業協会」設立30年の節目の総会開催をお祝い申し上げます。

世界は今、IoT、AI等技術革新の時代となり、第4次産業革命の波がうねっています。皆様方、情報サービス産業発展の好機です。時代と社会のニーズに応え、皆様方のビジネスが世界に広がっていくことを期待いたします。

大分県も大分県版産業革命「OITA4.0」を推進し、人材育成をはじめ様々なプロジェクトを設定し、「情報産業」を支援することで皆様方と手を携えて、IT トップ県を目指します。

国立大学法人大分大学 工学部教授 西野浩明様

本日は、「大分県情報サービス産業協会」の総会にお招きいただき、ありがとうございます。

協会発展への皆様の御尽力に敬意を表します。また、大分大学の研究・教育活動にご支援いただいておりますこと、特に OISA 技術研究会に本学大学院生を参加させていただいておりますことに感謝申し上げます。

産業界の変革と同様、研究学会・大学教育も変革期を迎えております。本年9月、本大学で開催される「電気・情報関係学会九州支部連合大会」を機に研究・教育をより強化してまいります。

新入会員紹介

よろしくお願ひ致します。



ワコーエンジニアリング(株)
代表取締役会長 津行 俊治

事業内容
電気及び通信工事、空調工事

所在地：大分市高松東3丁目3番6号
TEL：097-553-0210
FAX：097-553-0211
所属：総務委員会



(株)庄司酒店
代表取締役社長 庄司 光太郎

事業内容
酒類全般、及び酒器、グッズ、
食材の小売

所在地：臼杵市大野 625
TEL：0972-64-0055
FAX：0972-64-0033



(株)ラック
代表取締役社長 西本 逸郎

事業内容
セキュリティソリューションサービス
システムインテグレーションサービス

所在地：エリアビジネス開発部 福岡事業所
福岡県福岡市博多区博多駅前 3-9-1
TEL：092-451-1401
FAX：092-451-1402
所属：研修委員会



イーストライズ(株)
代表取締役社長 花塚 勇三郎

事業内容
システム開発、ニアショア開発、
技術者派遣

所在地：大分支社
大分市東春日町 17-19
大分ソフィアプラザビル1F
TEL：097-529-7391
FAX：097-529-7392

新任役員紹介挨拶



新理事 おおしま あきら
大島 昭

【所属・役職】
(株)富士通九州システムズ
執行役員
セキュリティ&ソーシングソリューション本部長

【略歴】
1960年 新潟県生まれ
1982年 富士通株式会社入社
2016年 (株)富士通九州システムズ 執行役員(現任)

【趣味】 食べ歩き、ゴルフ(百獣の王)

【ご挨拶】

デジタル化の大波がグローバルに広がる今日。時代を先駆けた宗麟公に習い、豊後からICTを活用した新たな価値を創出、発信すべく微力ながら努力いたす所存でございますので、御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表者交代のお知らせ

J:COM 大分ケーブルテレコム(株)	代表取締役社長	中谷 博之
大分バス(株)	取締役社長	高寄 和弘
(株)九州日立システムズ大分営業所	所長	盛武 寿浩
富士通(株)大分支店	支店長	福田 巧

新任者紹介

〔総務委員会〕	モバイルクリエイト(株)	品質管理室長	小野 貴久
	ワコーエンジニアリング(株)	取締役副社長	津行 智美
〔イベント委員会〕	大分シーイーシー(株)	取締役	鶴田 尚之
	(株)スリーエイ・システム	取締役	山田 明德
	西日本電信電話(株)大分支店	総務担当課長	竹内 洋平
〔研修委員会〕	(株)システムトレンド	グループマネージャー	佐藤 敦昌
	(株)ラック	エリアビジネス開発部 福岡事業所長	守田 智成
(株)庄司酒店	リコージャパン(株) 九州事業部大分支社	リーダー	橋 剛義
	イーストライズ(株)大分支社	支社長	児玉 直仁
			衛藤啓太郎

平成30年度

協会活動方針

1. 関係機関および関連団体との交流と連携を深め、地域の情報化を推進するとともに、協会及び協会活動の一層の周知を図る。
2. 委員会活動の充実を図り、第4次産業革命に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員企業の技術力の向上を図るとともに、会員相互の情報交換と啓発活動を推進する。

総務委員会

委員長 渡辺 崇敏 (朝日キャリアバンク(株) 統括マネージャー)
副委員長 阿部 吉雄 (株)JA大分総合情報センター 企画管理課長)
事務局 坂田 明 (九州東芝エンジニアリング(株) 参与)

1. 事業方針
(1)協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
(2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。
(3)社会貢献のための活動を推進する。
2. 事業計画
(1)次の協会定例行事を企画・開催する。
4月 通常総会後の講演会・懇親会
1月 30周年記念新年例会・記念講演会 記念祝賀会
2月 社会貢献活動推進
(2)行政、情報産業団体との交流。
(3)社会貢献活動の推進。

企画委員会

委員長 佐藤 隆己 (株)APC 代表取締役)
副委員長 渡辺 五朗 (大交ソリューションズ(株) 部長)
事務局 山松 正樹 (大分交通(株) 部長)

1. 事業方針
委員会活動の充実と強化及び、会員相互の理解と協力をより一層深める事を目的とした諸施策を展開する。
2. 事業計画
第4次産業革命に対する見分を広げる為に先進地域ならびに先進企業への視察研修を実行する。
・ 8月下旬～9月上旬 県外対象 (1泊2日)
・ 1月下旬～2月上旬 県内対象 (日帰り)



イベント委員会

委員長 野尻 健 (大分中央電算(株) 代表取締役社長)
副委員長 佐田 孝博 (株)アーネット 代表取締役)
事務局 大熊 洋司 (ゴードービジネスマシン(株) 部長)

1. 事業方針
(1)委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールする。
(2)会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。
2. 事業計画
(1)第27回サウンズコンテストの開催
従来の「純コンピュータ・ミュージック」を基本に、新しいコンピュータ・ミュージックのコンテストを検討していく。ITを利用して応募集客に工夫し、後援各社の報道により応募・集客を図る。また、大分フットボールクラブとの連携を深め夢のあるイベントとし、地域社会に貢献する。
(2)第24回OISAボウリング大会の開催

研修委員会

委員長 川上 陽二 (株)ザイナス ソリューション営業部 部長)
副委員長 里 信貴 (ソフトリンク(株)大分営業所 SI事業部兼管理本部長)
事務局 鶴田由佳利 (株)シーエイシー)

1. 事業方針
(1)研修事業は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映して行う。
(2)開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。
(3)他委員会との合議を積極的に進め、行政との連携も視野に委員会活動の活性化を図る。
2. 事業計画
(1)計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。
(2)企業の技術者向けに、専門技術あるいは先端技術に関する講座等を企画する。
(3)十分な協力体制をもとに、地域に開かれた研修活動を企画する。
(4)他、会員の要望に応じた事業を企画する。

技術委員会

委員長 谷口 泰生 (株)オーガス 課長)
副委員長 松村 栄一 (三井E&Sシステム技研(株)大分事務所 課長)
副委員長 清水 太 (ルーラルルウェイ合同会社 代表社員)
事務局 宮崎 恭隆 (株)富士通九州システムズ エキスパート)
事務局 吉良香奈子 (株)富士通九州システムズ)

1. 事業方針
下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献を目指す。
(1)最新技術動向に関する知識の普及。
(2)ICTに関する技術の向上。
2. 事業計画
(1)交流会の開催
業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き、技術交流会を開催する。
(2)技術研究会の開催
会員が抱える共通の技術課題について技術研究会を開催する。内容は、最新ICT技術動向を十分意識し、これらの情報技術や開発方法等について研究し、成果発表会を行う。

広報委員会

委員長 河野 修一 (株)アトムス 取締役部長)
副委員長 堺井 常行 (学)KCS大分情報専門学校 校長)
事務局 秋吉 英矢 (大銀コンピュータサービス(株) 取締役経営管理本部長)

1. 事業方針
協会活動の内外への広報事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。
2. 事業計画
(1)広報活動
OISAニュースの発行
年間2回、協会活動及び業界イメージアップに繋がる情報発信を行う。
・ 7月 総会特集・各委員会の事業計画
・ 3月 30周年特集とする
OISAニュースの継続発行、紙面の充実を図るとともに、行政諸機関及び諸学校へOISAニュースを配布する。OISAニュースを利用して会員企業や社員紹介を行い業界イメージアップに協力する。
(2)ホームページの利活用
広報委員会で協会情報やOISAニュース掲載の情報更新を行う。各委員会開催行事の広報や開催結果をタイムリーにホームページに掲載し協会活動の推進に寄与する。

平成30年度 通常総会記念講演会

演題「最近の金融経済情勢について」

講師：日本銀行前大分支店長 濱田 秀夫 様
日時：平成30年4月25日(水)16時より
場所：全労済ソレイユ 7階 アイリスの間



講師の濱田 秀夫 様

大分県情報サービス産業協会 平成30年度通常総会におきまして、日本銀行前大分支店長の濱田秀夫様に「最近の金融経済情勢について」と題しまして、記念講演をいただきました。

世界経済から日本経済までの展望、さらには大分県経済についての現状と今後の見通し等について、79ページに及ぶ詳しい資料を基に、大変分かりやすい解説をしていただきました。また、大分在任期間中に、ご自分で見て感じてこられたご経験から、大分県の長所や短所につきましても、貴重なご意見やアドバイスをいただきました。

以下、講演内容の骨子です。(講演資料より抜粋)

1. 世界経済の展望

「世界経済の現状と見通し」

世界経済は緩やかな成長が続く

- ①米国経済：トランプ政権の主な政策一覧、保護主義政策、金利の動き
- ②英国経済：EUからの離脱交渉の展開
- ③北朝鮮情勢：一人当たり所得(GNI)、仕向地別輸出と資金過不足

2. 日本経済の展望

「日本経済の現状」

国内経済は緩やかに拡大している

日本銀行：経済物価見通し(展望レポート、2018年1月)、
長短金利操作付き量的・質的金融緩和

3. 県内経済の展望

- ・最近の景気動向の比較(2018年3月現在)
- ・公共投資
- ・雇用者所得

4. 大分県における金融経済トピックス

- ①大分県の観光の現状と今後の展望
- ②民泊の本格解禁に向けた県内の動き
- ③大分県の活発な企業立地の背景と目指すべき方向性
- ④イノベーションを捉え始めた県内製造業
- ⑤大分県における企業収益動向と今後の課題
- ⑥引き締まりを続けている大分県の労働需給
- ⑦事業承継は県内企業飛躍のチャンス
- ⑧米国・EU・アジアにおけるリスクと県経済へのインパクト
- ⑨大分県民の金融知識・判断力と金融教育の課題

〈日本銀行大分支店のホームページのご案内〉
(ホームページのトップページ)

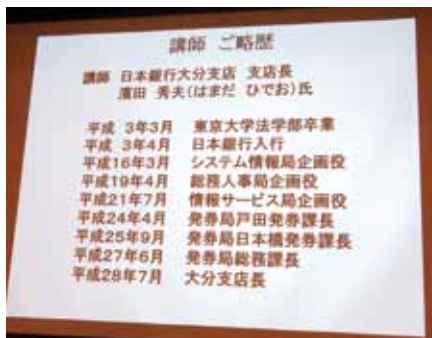
<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>
(大分県内の景気動向)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>
(短観)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>
(特別調査レポートのご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html
(支店見学のご案内)

https://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kengaku_annai.html



大分県情報サービス産業協会新年例会開催

平成29年度の新年例会が、1月17日(水)に全労済ソレイユにて、ご来賓並びに会員企業多数がご出席の中、盛大に開催されました。最初に、森会長より新年のご挨拶があり、ご来賓の方々と関係機関及び団体への平素のお礼に続き、大分市副市長久渡晃様、九州経済産業局情報政策課課長補佐中村孝子様からのご挨拶を頂戴し、特別講演へと移りました。本年は、大分県・大分市ラグビー協会アドバイザー平田輝志様から「2019年ラグビーワールドカップ日本大会に向けて」という演題でご講演をいただきました。その後会場を移し、大分県商工労働部長神崎忠彦様の乾杯のご発声と共に新年祝賀会が開催されました。なごやかな歓談を経て、最後に平山理事によるご挨拶をもって、盛会のうちに終了しました。

来賓ご挨拶

日常生活において情報通信技術の活用が欠かせないものとなりましたが、今後はさらにロボット・人工知能などあらゆるものがインターネットに繋がり、日常生活も大きく変わっていくと考えています。そのような中、政府では「eガバメント閣僚会議」が開催され、行政のIT化と業務改革を強力に推進するための事業を盛り込んだ「デジタル・ガバメント実行計画」を決定しました。

大分市においても、2月に子育て関連の手続きが自宅でおこなえる「子育てワンストップサービス」を開始、7月にはコンビニで住民票や印鑑証明書等が取得できる「証明書コンビニ交付サービス」の開始を控えており、それ以降もマイナンバーを活用した市民サービスの拡充に努めていきたいと考えています。また、サイバー攻撃からみなさんの大切な個人情報を守るため、情報セキュリティのより一層の充実を図っていきます。

10月には国民文化祭と全国障害者芸術文化祭、来年はラグビーワールドカップが開催されますので、大分市の魅力を国内外に発信する絶好の機会と考え、最先端のICT技術を用いたARによる情報発信などの施策を積極的に推進していきます。



大分市副市長
久渡 晃 様

経済産業省では、機械・データ・技術・組織などが繋がることで新たな付加価値の創出と社会課題の解決を図る「コネクテッド・インダストリーズ」を提唱し、今後重点的に政策投資を投入するべき5つの分野（自動走行・モビリティサービス/ものづくり・ロボティクス/プラント・インフラ保安/バイオ・素材/スマートライフ）を提示しています。

平成29年補正予算では、サービス等生産性向上IT導入支援事業として5百億円を計上し、中小企業のバックオフィスの効率化や売上向上に資するITツールの導入促進を支援していきます。皆様には、地域の中小企業へのIT導入支援にご協力いただきたいと思います。

一方、大分県ではIoT推進ラボの設置などのOITA40プロジェクトを展開しており、大分県発のIoTによる新ビジネスの創出が期待されています。当局では、九州地域のこうした動きを加速し、IoT利用による促進生産性向上や新サービスの創出を図るため、IoT技術提供企業とユーザ企業・支援機関が課題解決やアイデアを具現化する場として九州IoTコミュニティを設立、情報提供やビジネスマッチング等を行うことで九州発IoTビジネスの創出をめざしてまいります。



九州経済産業局
情報政策課 課長補佐
中村 孝子 様

特別講演会

演題：「2019年ラグビーワールドカップ日本大会に向けて」 講師：平田 輝志様

福岡県立東筑高校から早稲田大学に進学して全国大学選手権準優勝2回、97年から九州電力ラグビー部で活躍後、11年に九州電力キューデンヴォルテクスの監督に就任、1年目でトップリーグに昇格。15年に監督を退任後、九州電力大分支社に着任、現在は大分県・大分市ラグビー協会およびOITA NOSIDE CLUBアドバイザーとして、ラグビーを通じて大分県を盛り上げていきたい、大分県を日本で一番魅力あるところにしていきたい、と活動されています。

講演では、2019年ラグビーワールドカップを「4年に一度じゃない、一生に一度だ」という気持ちで楽しんでほしいと、ラグビールールや大分でおこなわれる予選・準々決勝の楽しみ方、チケットの購入方法などを紹介いただきました。また、九州電力ラグビー部監督就任1年目にトップリーグに昇格した際のチーム作りについてもお話いただきました。チーム作りのために外国人選手と徹底的に話し「当事者意識」を持たせるために外国人選手にチーム作りを考えさせ、日本人選手の前でプレゼンをさせて一気にチームの壁がなくなったこと。組織作りには「徹底する(=隙を作らない)」ことが大切と考え、経営資源である選手を管理するために、GPSで練習の動きを数値化して効率的で短時間の練習に改善したり、栄養士を付けた食事管理や心身を充実させるためのメンタルコーチを付けるなどに取り組んだこと。トップリーグ昇格に至るまでの「ビジョン」を明確にして、一日一週間一か月という括りで選手にメモを渡して「迷いを与えなかった」こと。そして、これらの手法も大切だが、まずは「本気」になることが最も重要であり、現在もどんな取り組みに対しても本気で臨むように心がけている、とお話いただきました。



平田 輝志 様

(総務委員会)

第26回

サウンズコンテスト

日時：平成30年1月27日（土）13：30～17：00

会場：iichiko総合文化センター映像小ホール

ON THE COMPUTER

今年で26回目を迎えたサウンズコンテストOn The Computerは、1月27日（土）に大分市のiichiko総合文化センター映像小ホール（地下1F）で開催されました。

今回の応募曲は89組103曲を数え、その中から予選を通過したフリー曲部門19曲、トリニータ応援歌部門5曲の合計24曲で本審査を行いました。

直前の大雪の影響で、県外からの参加予定者が急遽欠席となるなど多少不安もありましたが、即興のオカリナ演奏やものまねステージなどで、大変盛り上がりしました。

また審査時間を利用して、過去にトリニータ応援歌部門で優勝経験を持つ弁護士の平松まゆき様のミニライブトークショーを開催し、圧巻の歌声と「私がアイドルから弁護士になるまで」という波乱万丈の講話で、会場が感動に包まれました。

今年もインターネットにより全国から作品の応募を募ったことで、100曲を超える応募数となり、レベルの高い激戦となりました。その厳しい競争を勝ち抜き、みごとグランプリに輝いたのは、神奈川県石井剛さんの作品「女神の飛翔」でした。

石井氏はこの曲について、「管弦楽と女声コーラスをベースに、変拍子を多用したスピード感のあるフレーズと3拍子の古典的な舞曲風の主題を展開した壮大な雰囲気のある楽曲」とコメントしており、そのイメージ通り特徴のある素晴らしい楽曲でした。

審査結果

	氏名	年齢	地区	タイトル
グランプリ	石井 剛	56	神奈川県	女神の飛翔
フリー曲部門一般の部 1位	佐保 ナオヤ	46	大分市	ヘーラーのかに座
フリー曲部門一般の部 2位	前 迎 有紀子	23	神奈川県	花咲く海の波紋
フリー曲部門一般の部 3位	富 安 優 杜	23	神奈川県	玲瓏たるアストログラフ
フリー曲部門学生の部 1位	山 崎 零	22	兵庫県	エアリアルウォーカー
フリー曲部門学生の部 2位	白 居 司	24	神奈川県	モンテ・ロライマ
フリー曲部門学生の部 3位	林 壺 誠	20	京都府	灰雪
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	星 芝 あつこ	31	大分市	青藍士魂 TRINITA
審査員特別賞	亀 石 喜 弘	62	国東市	海鷲の歌（姫島編）



森会長と受賞者のみなさん



平松まゆきさんトークライブショー

トリニータ応援歌

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。今シーズンはJ1への昇格を願い、今年の活躍を期待する気持ちのこもった楽曲が印象的でした。

その中で最優秀賞に輝いたのは、大分市の星芝あつこさんの作品「青藍士魂 TRINITA」でした。

この曲は、3月4日（日）に開催された今シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈されました。

そして向こう一年間、大分スポーツ公園総合競技場（大銀ドーム）で開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流される音楽にも是非ご注目ください。

審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田村 洋彦	22回目	大分大学名誉教授（音楽科）・東アジア作曲家協会顧問
審査委員	久保田 栄子	16回目	Oita Sound Creator協会 事務局長
審査委員	眞名 井 龍一	3回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長

最後に、応募曲の編集、LIVE映像の配信、会場設営等で大変ご苦勞をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くの後援・協賛をいただきました各社様にも紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（イベント委員会）

社会貢献活動参加

平成30年2月4日(日)に第67回別府大分毎日マラソン大会が招待選手13名を含めランナー 3,900名がエントリーして開催されました。当協会からの給水ボランティア参加も今年で7年目となり、23社184名の参加で、最大規模のボランティア参加団体となりました。全15か所のうち4か所の担当を任せられ、寒風吹きすさぶ中、給水の紙コップが飛ぶなど悪戦苦闘をしましたが、リーダーとサブリーダーの指示で段取りの良い準備が行えました。

今年には2020年の東京オリンピックマラソン代表を決める「MGCシリーズ」(マラソングランドチャンピオンシップシリーズ)の男子第3戦であり、その中でのスペシャルドリンクの受け渡しは、ボランティアとはいえ重要な役割を担っております。給水作業を行いながら各選手の気力、体力を振り絞って走る姿に声援をおくりランナーの背中を声であと押し出来たと思います。ノーベル生理学医学賞受賞者の京都大iPS細胞研究所所長、山中伸弥教授の参加や、園田隼(黒崎播磨)選手がデスモンド・モクゴブ(南アフリカ)選手と最後まで優勝を争うなど非常に盛り上がった大会でした。

総務委員会では、来年も引き続きマラソン給水ボランティアを募集する予定です。来年も多くの方々のご参加をいただき、この雰囲気味わっていただきたいと思っております。
(総務委員会)



ノーベル賞を受賞した山中教授も参加していました。

平成29年度

第2回OISA視察研修

日程：平成30年2月9日(金)
視察先：レンゴー株式会社 鳥栖工場
(佐賀県鳥栖市)
源右衛門窯・九州陶磁文化館
(佐賀県西松浦郡)
参加：12社21名

視察内容

レンゴー株式会社鳥栖工場

工場長よりダンボールのニーズやトレンド及びその機能について説明を受けた後、会社概要とダンボールの製造工程をDVDにて鑑賞しました。

また、製造部長より工場の設備について説明を受け、実際に3班に分かれてダンボールの貼り合せ、ボックス製造、倉庫への搬入の工場ラインを見学しました。



研修会場にて工場長より説明を受けている風景



レンゴー株式会社 鳥栖工場での集合写真

源右衛門窯・九州陶磁文化館

現地ガイドの方よりバス車中にて、磁器と陶器についての説明と磁器発祥の地、有田について説明を受け、源右衛門窯にて実際に職人さんが轆轤(ろくろ)や窯で磁器を作っている風景を見学しました。

また、九州陶磁文化館にて多数の有田磁器、唐津陶器、伊万里といった作品を見学しました。



(企画委員会) バス車中にて現地のガイドの方より説明を受けている風景



九州陶磁文化館での集合写真

お知らせ

大分県情報サービス産業協会
30周年記念式典及び祝賀会

日時：平成31年1月16日(水) 15時～
会場：トキハ会館 ローズの間